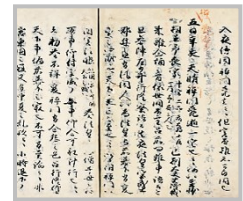


## 令和 3 年度 大学塾第 4 ステージ 開催案内

### 中世を読み解く『日記』に見る中世Ⅱ

日本史研究において、古記録（日記）は、基本史料となります。日記には、当時の政治・経済・文化等 状況を知るうえで貴重な情報が記されています。

本講座では、まず中世という時代について概説を行い、続いて中世に記された日記を読み解きながら、その時代背景や記主について窺（うかが）っていきます。



『玉葉』（九条兼実）

講 師：大関 直人氏 江東区教育委員会文化財専門員 法政大学研究員

日 時：3 月 12・19・26 日（土曜日）全 3 回 午後 2 時～4 時

会 場：足立区生涯学習センター（学びピア 21 内）5 階 研修室 1

講義内容：第 1 回 中世とはいかなる時代か？

— 中世の日記とは一日記に中世を読む —

第 2 回 平安時代後期～鎌倉時代の日記を読む

— 『玉葉』・『吉記』等 —

第 3 回 南北朝～室町時代の日記を読む

— 『看聞日記』・『親長卿記』等 —

### 【コラム】お風呂が沸きました あだち区民大学塾 講師：赤田秀子 氏



#### お風呂が沸きました

宮沢賢治研究会 顧問 赤田 秀子

「お風呂が沸きました。四二度で二時間保温します」さわやかな声が響いてくる。「はあーい、ありがと」と、つぶやきながら、くずくずしている。四年前、連れ合いが思いがけず急死した。想定外だ。何も手につかなかった日々。のち、気力体力を取り戻そうと、断捨離を兼ねて、家を一部リニューアルした。だが、そのあとにとっしりとコロナがやってきた。これほどに長逗留するとは思わなかった。これまでの多くの活動が休止、延期となり、趣味の写真撮影も出かなくなってきた。カメラが急に手に重く感じるようになった。一日が長くなり、テレビを見る時間が増えた。日常の細部は次々と想定外の連続になった。お風呂に入るのは気持ちがいい。かたまっていた身体が、やわらかいお湯の中で手足を伸ばすと、ゆっくりとほぐれていくはずだ。温泉気分になれる入浴剤も、最新式のシャワーも温度調節も快適だろう。しかし、入浴後には着替えねばならぬ。ヒートテックシャツ、裏起毛のスパッツ、毛糸の靴下を用意せねばならぬ。冷え性だからおなかのホカロンは外せない。老人性乾皮症予防のためのココナツオイルも、腰痛予防のロキソニンテープも必要だ。そのうえ、ワンピースの背中のジッパーがどうにも外せない。

やれやれ。先日の（ホヤキ川柳に「男性の声の家電も欲しい夜」など）とあったなあと思いたす。都会で孤独な夜を過ごす我が友よ、セクシーな声の家電に「どうぞ、今日はそのままお休みください」なんて、言われてみたいですね。

# 令和3年度 大学塾 第3ステージ 開催報告

## 歌舞伎入門講座 カフキの楽しさを見つけよう！

講師：元歌舞伎座支配人、金田栄一氏

「講座開催日」令和3年12月4・11・18日（毎回日曜日）研修室1において、コロナ対策を行って開催された。応募者34名 受講者26名 累計74名



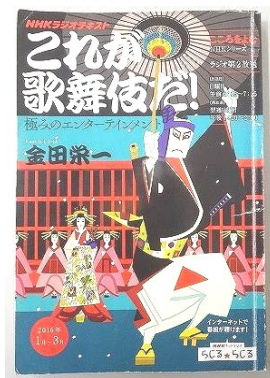
### 1回目「歌舞伎の始まりと『傾(かぶ)く』精神」

冒頭は講座の直前、今年11月28日に中村吉右衛門が無くなった追悼の意と紹介から始まった。テレビの「鬼平犯科帳」が大ヒットし、それまでは兄松本幸四郎の陰になっていたが、これで一躍日の目を見た。しかし、本人は鬘を着けると鬼平に見られ長い間相当悩んでいた事、着物姿と背広姿は全く異なった雰囲気になり、そこにいっただけで存在感のあった人であった事などエピソードが紹介された。

歌舞伎は、江戸時代1603年、奇抜な格好をして奇抜なことをする事から始まった。創始者は出雲の阿国、奇抜な踊りなので「傾(かぶ)き」と呼ばれた。しかし、「遊女歌舞伎」になり風紀上の問題から成人男子のみに限定された。そこから生まれたのが女形(女形)である。明治になると西洋文化が流行し歌舞伎が消滅の危機になる。しかし、西洋文化も取入れながら歌舞伎の新しい文化を作り上げ継続された。歌舞伎は、歴史を忠実に描いた芝居はあまりない。従って、歴史物語ではなく、「おとぎ話」と思ってみるのが楽しみ方である。

### 2回目「團十郎の代々と歌舞伎十八番」

初代團十郎の先祖は甲府生まれの武田武士。團十郎の父が人形町に住んでいて芝居好きだった。14歳で初舞台を踏むが体を赤く塗り墨で隈取をし勇壮な芝居をした。ここから、荒事という江戸歌舞伎の芸風が始まった。二代目團十郎は初代が成田不動尊に熱心に祈願の結果授かった子。ここから、屋号を「成田屋」という。上方和事風役柄にも幅を広げた結果「助六」を初演することになる。又、江戸庶民に神懸った存在として崇められ、歌舞伎役者の中でも別格の存在となる。十二代團十郎は新之助時代、菊之助、辰之助と共に「平成の三之助」と呼ばれ、歌舞伎を盛り上げ押しも押されぬ歌舞伎界のリーダーとなる。



### 3回目「大道具と小道具」

冒頭、金田講師が昨年文化庁長官表彰を受章されたことの報告があった。歌舞伎には大道具と小道具がある。

大道具とは組み立てが必要な大きな装置で、屋敷、庭木、背景画などであり、製作は歌舞伎場の専属会社が担当する。

小道具とは小物で刀、扇子、下駄などであり、製作会社は藤波小道具一社で担当し、大きな倉庫に保管し、各歌舞伎場に貸出している。

今回の講座は、アンケートを見ると「歌舞伎の敷居が低くなった」「来年はぜひ見に行きたい」「今後は楽しめる」など

歌舞伎の見方、楽しみ方を多くの方に理解して頂いたので、歌舞伎を身近なものに感じていただいた有意義な講座であったと言える。

(榊原金市)

# 令和3年度 大学塾第3ステージ 開催報告

## 教科書で教わらなかった 宮沢賢治

講師：宮沢賢治研究家、赤田秀子氏。

令和3年12月2・9・16日（毎回木曜日）研修室4において、コロナ対策を行って開催された。  
応募者35名 受講者32名 累計84名

### 1日目。「書簡から見る宮沢賢治」

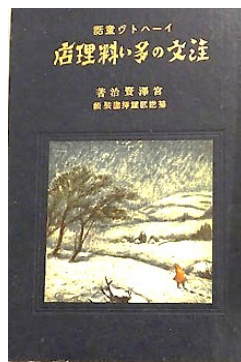


宮沢賢治は1909年（M42）現在の岩手県花巻市の質屋・古着商の長男として生まれる。賢治の作品は教科書にも掲載され、賢治像は小説化され日本国民のモデルとして扱われ聖人君子化されてきた。賢治は手紙を多く書いていて、友人、教え子、家族宛ての物が488通現存しているが、その中には残念ながらラブレターは存在していない。今回はそれらの手紙を読むことで本当の賢治像を見ていく。盛岡中2年時の賢治の父・政治郎あての手紙には自分の息災と9月の決算が書かれている。父親から学費の仕送りを受けていた

ので、その収支報告である。用途を汽車賃、洗濯代、小遣いなど何円何銭と細かく記載され、几帳面さが伺える。

### 2日目。「なぜ、小説や哲学ではなく、童話を書いたのか」

賢治の童話「鹿踊りのはじまり」には、栃の実、粟、稗の団子や餅が書かれている。当時、これらは米不足の東北地方には重要な食材であった。また、太陽の恵みの温かさ、歌を歌い踊る姿など心の豊かさも表現されている。更に、「ざあざあ」「プルルル」などオノマトペが多用されていて日本語の豊かさを教えてくれる。このような童話こそ子供達に読ませたい文章である。賢治が童話を書き始めた時、彼の作品は時代より先に行っていて、専門家も判断できず出版社で不採用になる。しかし、賢治没後、草野新平などの尽力で多くの人に知られるようになる。



### 3日目。「賢治が本当になりたかったものは…?」



賢治がなりたかったものは、学校の作文では「父の仕事を継いで質屋」と書いている。しかし、貧しい質屋では生計が成り立たず、東京に出て人造宝石の切削工になる。これは切削技術が難しく断念し故郷に帰り農学校の教師になる。やがて独創的な造園家を希望し、花巻共立病院の花壇設計を請け負う。賢治はこの花壇に「ベートーベンのファンタジー」を表現したが、この設計図は現在も残されている。賢治はこの仕事が気に入っており、「装景」と名付けた。花壇だけでなく公園全体の設計もやりたかったのである。

今回の講座は、よく知られている宮沢賢治の作品「風の又三郎」や「銀河鉄道の夜」ではなく、残された賢治の手紙や資料を読み解くことで、賢治の本当の人間性を知ることが出来たと思う。アンケートにも「とても勉強になりました」・「賢治の本をもっと読みたくなりました。」と書いていただいている。

（榊原金市）

## 「あだち区民大学塾」の運営と運営マニュアル説明会



「あだち区民大学塾」運営マニュアル（改定第3版）が作成されて3年ほど経過する中で、新型コロナウイルスの蔓延や近年新しい仲間が増えるなど、メンバーの動静があり喜怒哀楽そのものです。

このような中、現会員には事業運営の再確認も含め、入会された方々へ運営マニュアルの説明会を行ないました。説明は、平成22年当時、生涯学習センターが実施する講座や講演会の運営を担う運営ボランティアガイドを基に活動が行われていましたが、平成24年新たに「あだち区民大学塾」の事業を円滑に運営するための具体的な役割及び内容を纏めた運営マニュアルをわかりやすく編纂。その監修に携わった金子勝治氏が行ないました。

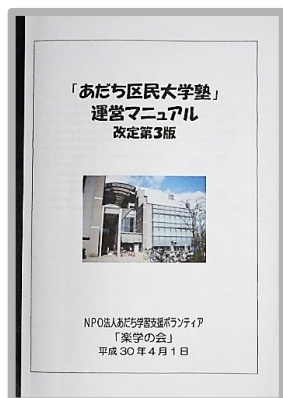
私自身は、説明を聞きながら“そういう事でしたか”、“あの時にマニュアルを確認してよかった！”など、さまざまな出来事が改めて脳裏を駆け巡りました。日々活動を行う中、忘れがちな細かい注意事項等もあり毎年再認識をすることの重要性を強く感じました。大変有意義な説明会でした。

**運営マニュアル（改定第3版）の内容は、以下のとおりです。**

### 目次

- 1 マニュアル作成の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・2頁
- 2 「あだち区民大学塾」講座企画と運営のための役割・内容・・・・2～3頁
- 3 「あだち区民大学塾」講座企画・運営フロー・・・・・・・・・・4頁
- 4 「あだち区民大学塾」運営スタッフの役割・内容・・・・・・・・・・5～6頁
- 5 「あだち区民大学塾」事務局当番の役割・内容・・・・・・・・・・6～7頁
- 6 「あだち区民大学塾」のしくみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・8頁
- 7 台風・地震等天災により講座中止場合の対応・・・・・・・・・・9頁
- 8 参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10頁  
足立区生涯学習センター施設利用案内等  
個人情報 等
- 9 附表一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11頁
- 10 編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11頁
- 11 附表一覧表より抜粋資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12～18頁

(ボランティア活動推進部 佐々木善光)



# 令和4年1月 運営委員会 報告 (1月7日)

## 代表挨拶：報告および提案

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りいたします。

昨年は9月まで緊急事態宣言が発出され最悪の状態でしたが10月からの緊急事態宣言解除と共に大学塾講座も再開され10月から5講座が開催されました。多くの受講者に参加いただき、受講者に感謝すると同時に我々もボランティアとしてのやりがいを感じております。

1月はNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に関連した「新視点で見る鎌倉幕府「開創」の真実」が予定されており、73名の方が申込されています。

2月、3月には緊急事態宣言で延期されていた3講座が開催予定となっており令和3年度として12講座が終了します。3月には足立区勤労福祉サービスセンターからの受託講座も予定されています。

令和4年度の大学塾前期講座として既に9講座が決定されており、令和4年度の講座より受講料を改定します。受講者への還元として配布資料の質の向上に努めていただきたいと思います。

事務局当番の件、留守番として受講者の問合せの電話に対応するのは責務と考えております。

会員数も減少し、当番を担当いただく方も減少しておりますが、運営委員となっている方は最低限月に一日担当いただきたいと思います。どうかよろしくお祈りいたします。

今年も元気で楽しい活動になりますよう皆様のご協力をお願いいたします。

## 議 事

### (1) 情報交換

- ・NPO活動支援センター講座 「オンライン活用講座」のチラシを送付する

### (2) 月例会開催について

- ・1月18日(火)：「あだち区民大学塾の運営と運営マニュアル」説明会

### (3) あだち区民大学塾(検討会議・企画会議・地域協働講座)

|        |             |           |                   |        |        |
|--------|-------------|-----------|-------------------|--------|--------|
| 「宮沢賢治」 | 応募者 18(17)名 | 赤田秀子講師    | 12/2, 9, 16       | 1回 30名 | 2回 28名 |
|        | 3回 24名      | 有料受講者 32名 |                   |        |        |
| 「カブキ」  | 応募者 26(8)名  | 金田栄一講師    | 12/4, 11, 18      | 1回 24名 | 2回 25名 |
|        | 3回 25名      | 有料受講者 26名 |                   |        |        |
| 「鎌倉幕府」 | 応募者 43(31)  | 跡部 蛮講師    | 1/16, 23, 30      |        |        |
|        |             | 会場：講堂     | 受講生が多いため、受付を2組とする |        |        |

### (4) 委託事業について

足立区勤労福祉サービスセンターより講座開催の要請あり →学習支援部 契約完了

- ・開催日：令和4年3月3日、4日

テーマ：「遺産相続と後見制度」→あだち区民大学塾の11月開催講座

### (5) センターでは、オンライン講座を実施している。大学塾講座も対応可能か？ →要検討

次回運営委員会 2月1日(火) 14:30から(研4)

## 当会 顧問情報

## 社会教育誌 掲載原稿 紹介

【社会教育】2022-1月号 10頁

### ● 論文 高齢社会を支える社会参加

プロダクティブ・エイジングの  
視点から社会教育の実践へ

神奈川大学教授(社会教育課程担当)

齊藤 ゆか 氏

【社会教育】2021-12月号 6頁

### ● 論文 メディア爆発時代のメディア教育

—紙芝居からSNSまで—

文京大学名誉教授 平沢 茂 氏

\*書籍：社会教育1月号・12月号は、WRに保管されています。



◎ 講座名：月面移住が現実に！  
宇宙滞在技術 驚きの活用とねらい  
日 時：3月12日(土) 午前10時～正午  
対 象：16歳以上の方  
会 場：5階 研修室1  
受講料：800円（一律、講座当日にお支払）  
定 員：40名（事前申込先着順）  
講 師：木村 真一氏（東京理科大学  
理工工学部 電気電子情報工学科 教授、スパー  
スシステム創造研究センターセンター長）  
内 容：月に住む、フィクションの話だと思っ  
ていませんか？今、月面などの宇宙空間で生活する  
ため、様々な技術が研究・開発されています。実  
はその技術は、地球上の暮らしにも大いに役立っ  
ているのです。意外と身近な宇宙滞在技術につい  
て、楽しく紹介します。

◎ 講座名：東京未来大学公開講座  
ハッピーエイジングの心理学  
日 時：3月18日(金)午後7時～午後8時半  
対 象：16歳以上の方  
会 場：5階 研修室4  
受講料：1,000円（一律、講座当日にお払い）  
定 員：30名（事前申込先着順）  
講 師：島内 晶氏（東京未来大学モチベシ  
ョン行動科学部 准教授）  
内 容：「人生100年時代」を生きる私たちは  
「年をとる」ということにどのように向き合  
っていけばよいのでしょうか。また、長寿で  
あることが決して珍しいことではない現代に  
おいて、高齢者とより若い世代は、どのよう  
にして円滑な人間関係を築いていけばよいの  
でしょうか。高齢者心理学の知見から、その  
ヒントを探してみましよう！

お申込みは、電話（03-5813-3730）又は直接窓口  
インターネット〔近所 de まなびナビ〕で検索  
イベント・講座情報→講座予約システム

## 令和4年2月「月例会」のご案内

2月15日(火) 午後3時～5時 研修室4  
テーマ：「災害時の協力体制について」と  
「学びピア 21 防災施設見学」  
(災害備蓄品配布)

## 令和4年3月「月例会」のご案内

3月15日(火) 午後3時～5時 研修室4  
テーマ：「令和3年度・活動の振り返り」と  
「次年度の計画」について

\*皆様の積極的な参加をお待ちしています。  
(ボランティア活動推進部)

- ◎ 運営委員会  
2月1日(火) メール連絡
- ◎ 月例会  
2月15日(火) 午後3時～5時 研修室4
- ◎ 学習支援部  
2月15日(火) 午後1時～2時 ワークルーム
- ◎ ボランティア活動推進部  
2月8日(火) メール連絡
- ◎ 事務局  
2月2日(水)午後2時～4時 ワークルーム  
2月21日(月)午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ 広報グループ  
メール会議
- ◎ 大学塾講座検討会議  
2月15日(火) 午後2時～3時 研修室4
- ◎ 大学塾講座企画会議  
2月1日(火) メール会議
- ◎ 生涯学習センター 休館日  
2月14日

## ★お問い合わせ&ご意見

- ◎ 「楽学の会」の運営に関するお問合せ  
事務局 江川武男 電話：090-3105-8140  
E-Mail : [takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp](mailto:takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp)
- ◎ 「ホームページ」に関するお問合せ  
<http://gakugaku.main.jp/>  
広報 G 神戸 明 電話：03-3606-0058  
E-Mail : [kambe.akira2@gmail.com](mailto:kambe.akira2@gmail.com)

## 編集後記

### 「脱炭素化への道のりと カーボンオフセット」

深刻な環境問題として、2021年、日本の平均気温の平  
年差は0.61度上昇、過去3番目の高さとなり、政府  
は2030年度迄の温室効果ガス(二酸化炭素)排出量を46  
パーセント削減する目標を掲げています。そんな中、  
世界で最重要課題となっている地球温暖化対策として  
・市民、企業、団体など、自らが排出する二酸化炭素  
ガスの量を把握する。・削減するための取り組みを行  
う。・削減できなかった排出量を埋め合わせる。二酸化  
炭素(CO2)と排出量を相殺するカーボンオフセットの撮  
り組が導入され注目されています。その方法は、①クレ  
ジット(CO2排出量)を購入することで、削減できなかつ  
たCO2の排出来る権利を手に入れる。②排出してしま  
ったガス量分、吸収量を増やすための環境保護の取  
り組み(CO2を吸収する植物を植林などして増やす方法)  
に投資する。多くの企業や団体がカーボンオフセット  
を積極的に導入した背景には、環境問題の深刻さから  
の解決策としての最重要性がありカーボンニュート  
ラル実現に繋げる事が出来ます。政府では2050年まで  
に、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、す  
なわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実  
現を目指すと言っています。今世界中がカーボンニ  
ュートラルの実現に向けて動き始めています。

(金子記)